

有野台まちづくり活動計画

2017年8月

有野台を 考える会

「有野台を考える会」は、地域の各種団体(有野台自治連合会 / 有野台ふれあいのまちづくり協議会 / 有野台第2ふれあいのまちづくり協議会 / 有野台婦人会 / 有野台鶴令会 / 東有野台熟年クラブ / 北区青少年育成協議会有野台支部 等)が参加して開催している協議会です。

協力：神戸市住宅都市局計画部都市計画課
神戸市北区北神支所まちづくり課
合同会社 人・まち・住まい研究所

「誰もが住みたくなる、住み続けたくなる、住みやすい有野台」 を目指して

■「有野台を考える会」とは

◇有野台のまちづくりを考えます。

有野台団地はまちびらきから46年が経過しており、住宅や施設の老朽化が進み、地域住民の少子高齢化が進行しています。またこれに伴い、路線バスの維持・存続の課題や、小学校統合の問題、商店街の活性化や、空き家増加の問題など、数多くの地域課題が見えてきています。

◇有野台にお住まいのみなさんが「話し合う場」をつくります。

こうした多くの地域課題を、住民の皆で認識し、その解決の方策を探り、実行していくための組織として、平成27年に、有野台で活動しているいくつかの団体の参加を得て「有野台を考える会」を立ち上げました。

平成27年度には、地域課題を発見し解決するためのワークショップやまちあるき会を実施し、会の目標を「誰もが住みたくなる、住み続けたくなる、住みやすい有野台」に決定しました。

◇有野台をよりよくする活動をはじめます。

平成28年度には、地域課題に関する勉強会を開催したほか、いくつかのプロジェクトチームを立ち上げ、よりよい有野台団地を目指した具体的な活動をはじめたところです。

■有野台を考える会の「活動計画」について

有野台を考える会では、地域の皆さんと一緒に有野台団地をよりよくするための活動を進めていきたいと考えています。この「活動計画」は、有野台を考える会で、平成27年度から28年度にかけて話し合い、行動してきたことを踏まえて、今後「有野台を考える会」がどのような活動をしようと考えているかを有野台団地にお住まいの皆さんと共有するものです。

■「有野台を考える会」への参加者を募集しています

有野台団地をよりよくしたい皆さんが集まって、一緒に考え、活動するための話し合いの場をつくっています。毎月第4木曜日の19:00～地域福祉センターで定例会を開いていますので、皆さんぜひご参加ください。

有野台の課題と目指すまちの将来

有野台が抱える課題を解決して、どんなまちづくりを目指すのか。これまでのアンケートやまちあるき、ワークショップでの意見をもとにまとめました。

目標 「誰もが住みたくなる、住み続けたくなる、住みやすい有野台」

有野台の主な課題とまちづくりのテーマ

- 1. 買い物利便の問題を解決して「団地内での買い物を便利にしたい」**
 - ・買い物出来る店が少ない。遅い時間に買い物出来ない。
 - ・商店街に活気がない。
- 2. 防犯・防災の問題を解決して「安心で安全な暮らしを守りたい」**
 - ・空き家が不用心。・団地内の街灯が少なく暗い。
 - ・自然災害が心配。・子どもを狙った事件や事故が心配。
- 3. 医療・福祉の問題を解決して「年をとっても、生活に困らないまちにしたい」**
 - ・1人暮らしの高齢者や日常生活、災害時に手助けが必要な人が増えている。
 - ・困った時に相談できる先がわからない。
 - ・孤独・不安を感じている人が増えている。
- 4. 交通・バスの問題を解決して「移動に不便のない暮らしを実現したい」**
 - ・坂道が多くて通勤・通学・日常の移動が大変。
 - ・バスの利用者が少なく、存続が心配。
- 5. コミュニティ・自治会の問題を解決して「皆で支え合える地域にしたい」**
 - ・自治会活動を負担に感じる人が増えている。
 - ・近所付き合いが減っている。集まれる場所が無い。
- 6. 暮らし・住まいの問題を解決して「静かに暮らせる住環境を守りたい」**
 - ・ゴミ出しや騒音などの生活マナーが悪い。
 - ・団地内にサービス施設が不足。
- 7. 子育ての問題を解決して「子どもを育てやすいまちにしたい」**
 - ・小学校の児童数が減少している。団地内に2校も必要？
 - ・あいさつしない子どもが多い。・公園に遊具が少ない。
- 8. まちの活気の問題を解決して「さみしくない程度に賑やかなまちにしたい」**
 - ・子どもの声が減り、地域に活気がない。
 - ・ご近所の方の顔と名前を知る交流の機会が無い。
 - ・商店街のシャッターが閉まっていてさみしい。
- 9. 景観・美観の問題を解決して「できるだけキレイなまちを保ちたい」**
 - ・犬の散歩でフンを放置する飼い主が多い。
 - ・道路や公園にゴミが多い。
 - ・団地内の公園の手入れ不足。

地域みんなの力で有野台の課題を解決する、まちの魅力をつくる

有野台のまちづくりテーマを実現するための「プロジェクトチーム」で取り組みを進めます。

商店街活性化プロジェクト

有野台商店会、コープ有野店と協力して、イベントの開催など有野台商店街を賑やかにする活動を行います。

■取り組み内容

- ・商店街に人が集まり、賑わいができるようなイベントやフリーマーケットを開催する。(定期開催を目指す。)
- ・だれでも気軽に立ち寄れるカフェスペースなどをつくる。
- ・空店舗を利用した利便施設やサービス施設の設置検討。

お年寄り見守りプロジェクト

お年寄りが集える場をより充実させていきます。花と緑プロジェクトが植樹した桜でお花見をしながら地域の高齢者の見守りにつなげたいと考えています。

■取り組み内容

- ・団地内で実施されている喫茶や給食の状況を把握。
- ・気候のよい時期に移動喫茶を開催して地域の高齢者が集まれる場をつくる。
- ・花と緑プロジェクトと連携し、桜が咲く時期にお花見喫茶を開催する。

バス乗車促進プロジェクト

将来にわたり路線バスの運行を維持するには、多くの人々がバスを利用することが必要です。住民の皆さんにバスの利用を促す取り組みを行います。

■取り組み内容

- ・有野台バス路線活性化協議会と協力し路線の改定から1年間の乗降客数などの状況を確認する。
- ・路線バス乗車促進の啓蒙活動、バスを利用した遠足などを実施する。

有野台のいいところプロジェクト

「有野台の魅力」にスポットをあてたマップ作成や、魅力をいろいろな媒体で発信することを検討します。

■取り組み内容

- ・好評を得た「有野台まちあるき会」を引き続き開催し、地域みんなの有野台の魅力を見つける。
- ・まちあるき情報をもとにまちの魅力を紙面やインターネットを通じて発信する。

地域美化プロジェクト

団地内の美化を中心に活動し、花(桜)と緑プロジェクトと連携し、植樹後の樹木の手入れを行います。

■取り組み内容

- ・団地内の美化状況を調査し、実態を把握する。
- ・手入れが必要な場所は、協力を募って手入れする。
- ・花と緑プロジェクトと連携した樹木管理の実施。

花(桜)と緑プロジェクト

有野台の将来にわたるまちの魅力づくりの一環として、「桜の植樹」を中心に、有野台を花と緑あふれる街にする活動を行います。

■取り組み内容

- ・桜をはじめとした四季を感じる植物を植樹し有野台の魅力向上を目指す。
- ・季節ごとに花や緑を楽しむイベントを開催し、団地内の賑わいをつくる。

「有野台のまちづくり研究活動」として問題点の把握や、その改善を目標に活動を進めます。

まちの安心調査

安心して暮らすために、団地内の危険な場所などを調査します。

公園魅力調査

団地内の公園が安全で明るい心なごむ公園となるように施設の調査を行います。

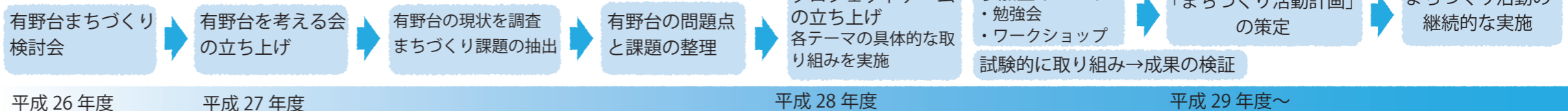
空き家調査

自治連合会で行っている空き家の調査を継続し、将来的には、まちづくりの中で空き家を活用できるかどうか、可能性を考えていきたいと思えます。

集える場づくり研究会

遠出が出来ない高齢者のために、喫茶主体で誰でも気軽に集える場所を増やすための方法を探ります。

取り組みの進め方・スケジュール(予定)



地域みんなで、まちづくりを考える・話し合う「場」をつくる

勉強会やワークショップを開催し、有野台のまちづくりについてみんなで話をする場をつくりたい。

【これまでに実施したこと】

- ・有野台のいいところ探しまちあるき会
- ・有野台をステキにするアイデア大会ワークショップ(2回)
- ・有野台のまちづくりに関する勉強会(コープ・小学校)



【今後の主なテーマ】

- ・有野台の魅力発見ウォーク
- ・有野台の魅力PRマップづくり など

地域みんなの意見をまとめるための「場」をつくる

住民だけで解決が難しい課題について、行政・事業者と協力して取り組むために、地域みなさんの意見をまとめてもらったり、希望を行政や事業者へと伝えるお手伝いをします。

【これまでに実施したこと】

- ・有野台まちづくり意識調査
- ・有野台バス路線活性化協議会への協力



【今後の主なテーマ】

- ・有野台の小学校のあり方について考える
- ・五社駅周辺の環境について考える など

地域みんなで目標実現・課題解決に取り組む

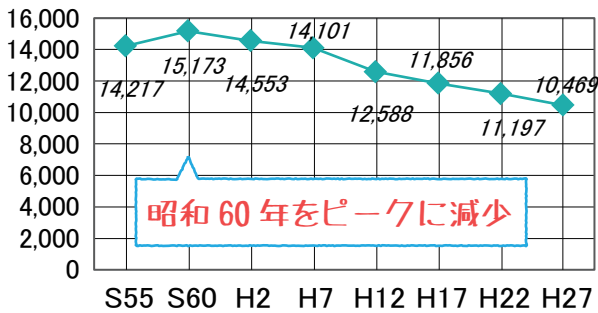
プロジェクトチームや研究・調査など、まちづくりのテーマにそった取り組みは地域みなさんが主役となって進めていきます。有野台を考える会など地域団体と協力して取り組んでいきます。

試験的に右記の6つのプロジェクトチームの活動に取り組み、その結果をもとに今後、「まちづくりテーマ」を実現するための活動を展開していきます。

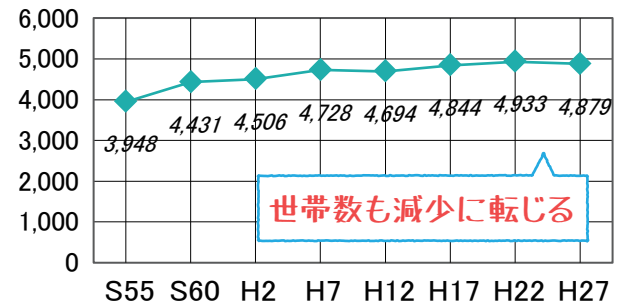
有野台の現状と今後の予測

平成27年までの国勢調査による人口データをもとに有野台の現状を整理しました。

■人口の推移

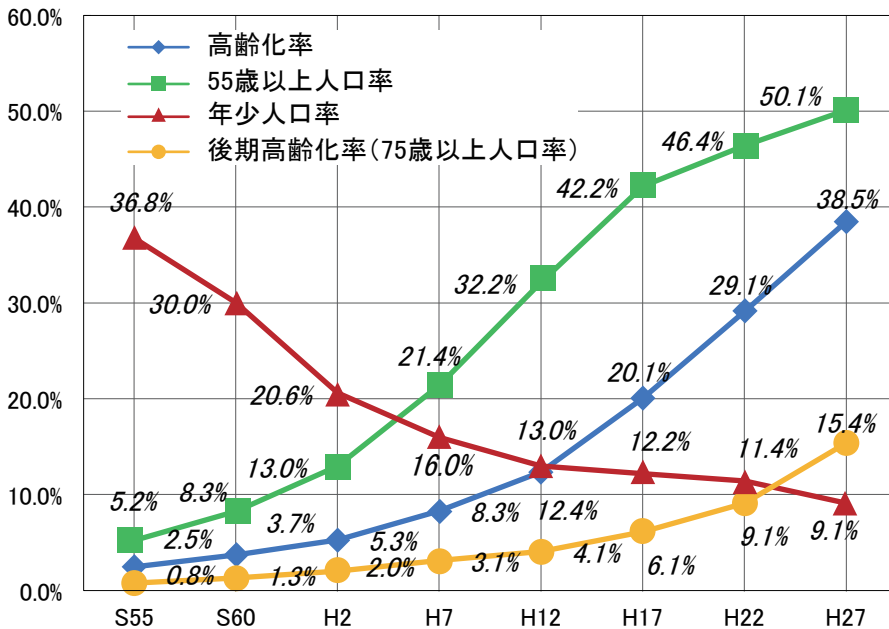


■世帯数の推移



有野台団地の人口は、ピーク時には15,000人を越えていましたが、2015年(平成27年)の段階で10,469人と、ピーク時の約3分の2の人口となっており、この減少傾向は現在も続いています。一方で世帯数は、1970年(昭和45年)の入居開始以来増加を続けてきましたが、2015年(平成27年)の調査では減少に転じています。

■年少人口率・高齢化率・後期高齢化率、55歳以上人口率の推移



高齢化率は急上昇中
今後も大きく上昇する見込み

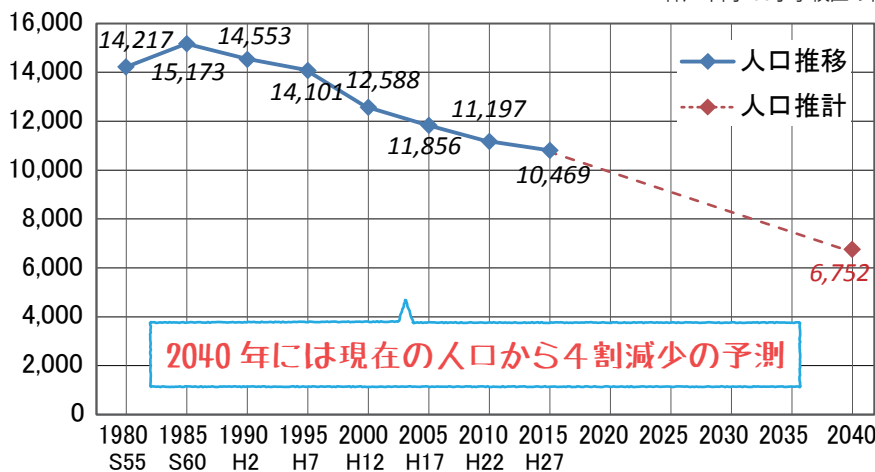
高齢化率は1980年(昭和55年)時点で2.5%だったものが2015年(平成27年)時点で38%と急激に上昇しており、これは同時期の神戸市全体の高齢化率27%よりも高くなっています。

一方で年少人口率は一貫して減少傾向が続いています。

年少人口率は減少の一途

■有野台の将来の人口動向とその影響について

出典・参考：今後の神戸市の人口動態に関する有識者会議報告書
※神戸市内166小学校区の将来推計人口(有野台小学校区、有野東小学校区)から算出



2040年には現在の人口から4割減少の予測

有野台では今後も人口減少が予想され、それに伴う空き家の増加や地域活力の低下など、様々な課題の発生が懸念されます。将来にわたって地域の活力を維持していくためには、住民の皆さんの積極的なまちづくり活動が不可欠です。

人口の減少などによって様々な地域課題が生じる可能性があります。それらの課題を解決するためのまちづくり活動に取り組み、人口の減少もゆるやかにする努力をしていきます。